

143 部落史関係文献目録

黒川みどり・藤野 豊「資料紹介／「有馬頼寧日記」(7) 1920年7月～12月／1920年補遺」

藤田励夫「研究情報／高岡弘幸「都市と疫病—近世大阪の風の神送り」

布川 弘「研究情報／高橋秀直「形成期明治国家と朝鮮問題」

(『部落問題研究』103輯、1990年1月)

成沢栄寿「社会運動家難波英夫とその人道主義的源流」

渡辺巳三郎「賀川豊彦のヒューマニズム思想とその実践」

佐々木敏二「山本宣治と水平運動」

布川 弘「史料紹介／賀川豊彦の『日記』」

大熊哲雄「研究ノート／「弾左衛門支配」に関する研究ノート(1)の1」

池田敬正「書評／『近代日本の社会史的分析』」

新藤東洋男「書評／『部落解放史』を読んで」

藤田励夫「研究動向／石川力山「中世曹洞宗における授戒儀礼について」

布川 弘「研究動向／鈴木正幸「近代日本君主制の一特質」

(『部落問題研究』104輯、1990年3月)

大熊哲雄「研究ノート／「弾左衛門支配」に関する研究ノート(1)の2」

西木浩一「書評／『近世身分論』」

黒川みどり・藤野 豊「資料紹介／「有馬頼寧日記」(8)1921年1月～5月」

藤田励夫「研究動向／尾崎安啓「中世声聞師の石築地について」

布川 弘「研究動向／池田敬正「小河滋次郎について」

(『部落問題論究』11号、1988年11月)

大熊哲雄「長吏社会における人別帳名順と階層序列についての一考察」

落合重信「部落起原の問題」

<ミ>

(『水と村の歴史』5号、1989年11月)

尾崎行也「消えた村—小県郡長瀬村被差別部落」

斎藤洋一「寛永期の五郎兵衛新田耕地開発状況」

市川育英「史料紹介／『土と水』—川西土地改良区連合会機関誌」

松下志朗「書評と紹介／『近世部落の成立と展開』」

布引敏雄「書評と紹介／『五郎兵衛新田と被差別部落』」

<リ>

(『リパティ』1号、1990年1月)

井上満郎「古代日本と渡来人」

(後記) 本目録は、部落解放研究所の図書資料室が日常的に収集している文献を中心に、執筆から送っていただいた抜き刷り等で補足しながら、歴史・理論部門事務局で作成した。『部落』『部落解放』『解放教育』等の論文を捨象したほか、力量不足から重要な文献が抜けているのではないかとも思う。しかし逆にあまり目に触れることのない貴重な文献をいくつか掲載することもできたので、読者の一助となれば幸いである。

門田秀夫「連続解放講座10—Ⅳ水平社の創立と部落解放運動」
 三浦昇一「戦後広島県部落解放運動史 草稿2」
 古田健二「広島県共鳴会について—創設期における性格」

(『部落解放史「宮崎」』2号、1989年8月)

稲森建蔵「『部落史の見方考え方について』思うこと」
 宮崎県同教部落史研究専門委員会「日向の芸能 佐土原歌舞伎」
 山田耕三「資料／穢多非人取扱方心得書」

(『部落問題—調査と研究』72号、1988年2月)

宗森英之「たたらとその職人たち」
 山口 圭「忘れぬうちに・思い出(2)」(～25、77号、12月)
 大森久雄「資料紹介／岡山県・融和教育関係資料(8)」(～13、77号、12月)
 岡あきら「荆冠旗 第六部「鳴動」第五章」(～第十章、77号、12月)
 (『部落問題—調査と研究』73号、1988年4月)
 大林秀弥「書評／『岡山県部落解放運動60年史』」
 (『部落問題—調査と研究』77号、1988年12月)
 那須靖雄「書評／『賀川豊彦と現代』を読んで」
 (『部落問題—調査と研究』78号、1989年2月)
 佐田昌弘「『米騒動』期前後の社会運動と部落解放運動(上)」
 山口 圭「忘れぬうちに・思い出(2)」(～30、82号、11月)
 大森久雄「資料紹介／岡山県・融和教育関係資料(4)」
 岡あきら「荆冠旗 第七部「逆流」第一章」(～第六章、83号、12月)
 (『部落問題—調査と研究』79号、1989年4月)
 佐田昌弘「『米騒動』期前後の社会運動と部落解放運動(下)」
 大森久雄「資料紹介／岡山県・民主教育関係資料(1)」(～3、83号、12月)
 (『部落問題—調査と研究』81号、1989年8月)

岩間一雄「律令制度と賤民」
 新藤東洋男「『解放令』研究の成果と課題(上)」
 (『部落問題—調査と研究』82号、1989年10月)
 新藤東洋男「『解放令』研究の成果と課題(下)」
 (『部落問題—調査と研究』83号、1989年12月)
 佐々木隆爾「日本の戦後政治と同和対策(上)」
 (『部落問題—調査と研究』84号、1990年2月)
 佐々木隆爾「日本の戦後政治と同和対策(下)」

(『部落問題研究』94輯、1988年3月)

黒川みどり・藤野 豊「資料「有馬頼寧日記」(5) 1920年2月～3月」

(『部落問題研究』95輯、1988年9月)

塚田 孝「近世賤民制研究の現状と課題」
 藤井寿一「近世三河地方における非人身分と非人組織」
 青木孝寿「近代部落史研究の成果と課題」
 布川 弘「資本主義確立期の都市下層社会と部落—神戸「新川」を中心に」
 新藤東洋男「筑前竹槍一揆と「解放令反対一揆」問題—天皇制の地域支配への準備過程」
 (『部落問題研究』96輯、1988年12月)
 鈴木 良「水平社創立をめぐる一聞き取りと史料発掘」(2)
 峯岸賢太郎「近世賤民史の方法について—畑中敏之氏の批判に答える」
 黒川みどり・藤野 豊「資料「有馬頼寧日記」(6) 1990年4月～6月」
 (『部落問題研究』97輯、1989年3月)
 小山靖憲「中世賤民史研究の成果と課題」
 畑中敏之「近世「賤民」身分研究と「部落」前史研究—1987年の成果と課題」
 池田敬正「『成果と課題』近・現代編」
 (『部落問題研究』98輯、1989年4月)
 丹生谷哲一「青屋賤視の歴史的背景」
 手島一雄「近世後期国学における穢れと差別観念の考察—記紀との比較検討を通して」
 鈴木正幸「土族論雑考」
 小路田泰直「帝国主義的都市の成立と生活難問題」
 (『部落問題研究』99輯、1989年5月)
 西木浩一「近世関東の「長吏」と檀那寺—差別の歴史的位置づけをめざして」
 徳永高志「近代都市部落の形成と民衆運動—1920年前後の神戸を中心に」
 原田敬一「米騒動研究の一視点—「生活難」をめぐる」
 (『部落問題研究』100輯、1989年7月)
 塚田 孝「近世賤民制研究をめぐる二～三の問題」
 (『部落問題研究』101輯、1989年9月)
 脇田 修「河原巻物の世界—「河原由来記」の分析」
 のびしよじ「中世後期皮革業の性格 覚書」
 竹永三男「近代日本の地域社会と部落問題の歴史的研究に関する若干の問題」
 鈴木 良「水平社創立をめぐる一聞き取りと史料発掘」(3)
 池田秀一「天保後期における足利町市商い出入一件」
 藤田劬夫「研究情報／丹生谷哲一「中世における他者認識の構造」」
 布川 弘「研究情報／原田敬一「都市問題論から近代社会論へ」」
 (『部落問題研究』102輯、1989年11月)
 塚本 明「近世京都の下級警察機構—「年行事」の役務・組織構造を中心に」
 藤本清二郎「近世賤民制研究と「身分支配」論—塚田孝氏『近世日本身分制の研究』に
 よせて」
 中村 正「書評／池田敬正『日本社会福祉史』」

- 1、部落問題に対する基本姿勢について
 - 2、占領政策の根本原則と部落問題—元民政局次長ケーディス氏に聞く
 - 3、戦後部落の差別実態の把握について
 - 4、資料紹介「部落の起源、発達、現況に関する一考察」
- 中尾健次「『猿飼』の身分的位置とその変遷—関東を中心として」
吉村智博「『解放令』以後の分村独立運動の再評価—滋賀県下の事例を通して」
上杉 聡「資料紹介／播但一揆に関する史料の紹介—隠された部落解放反対騒擾の史料」
平野一郎「書評／『部落解放史・下巻』を読んで—戦後史の流れの中での「総括」がほしい」
(『部落解放研究』70号、1989年10月)
- 上田正昭「部落史研究の到達点と課題(古代)」
横井 清「部落史研究の到達点と課題(中世)」
寺木伸明「部落史研究の到達点と課題(近世)」
秋定嘉和「部落史研究の到達点と課題(近代)」
渡辺俊雄「部落史研究の到達点と課題(戦後)」
友永健三「部落史研究の到達点と課題(現代)」
丹生谷哲一「書評／部落解放研究所編『部落解放史—熱と光を—』上巻」
尹 健 次「書評／被差別者にとっての「国民」概念—『部落解放史・下巻』を読んで」
(『部落解放研究』72号、1990年2月)
- 金子マーティン「戦前文献資料にみる被差別部落の繊維女性労働者(その一)」
(『部落解放研究くまもと』15号、1988年3月)
- 森 裕三・藤本 泉「戦前の「融和教育」について」
(『部落解放研究くまもと』16号、1988年3月)
- 寺木伸明「被差別部落の起源と一向一揆との関連について(1)—安良城盛昭氏の批判に答える」
齊藤 真「『部落差別と宗教』研究構想ノート」
日野賢隆「『地区』と本願寺—とくに「興学場」設立の周辺」
(『部落解放研究くまもと』17号、1989年7月)
- 寺木伸明「被差別部落の起源と一向一揆との関連について(2)—近世政治起源説は破産したか」
(『部落解放研究くまもと』19号、1990年3月)
- 「藤崎八幡宮秋期大祭でのかけ声「ボシタ」の差別性について」
(『部落解放史ふくおか』49号、1988年3月)
- 金山登郎「福岡の消費組合運動と水平社同人」
かとうよういち「『政治起源説』超克へのひとつの試論—部落史に関する覚え書き」

- 金山登郎「史料紹介／『消費組合新聞』九州・沖縄関係記事(4)1933年～1936年記事本文」
松下志朗「幕末における一技術者の建策」
(『部落解放史ふくおか』50号、1988年6月)
- 有馬 学「1930年代の全農福佐連合会と水平社—問題提起にかえて」
石瀧豊美「筑前竹槍一揆研究の視点を問う—茂木陽一氏の筑前竹槍一揆研究への疑問」
金子マーティン「近代天皇制下の警察権力の民衆蔑視—「別府のヶ浜焼打ち事件」研究史の検討と『大分新聞』にみるその報道」
安蘇龍生他「座談会／近世部落の「農業化」をめぐる」
(『部落解放史ふくおか』51・52号、1988年12月)
- 特集：福岡における在日朝鮮人問題
(『部落解放史ふくおか』53号、1989年3月)
- 白土秀美「さようなら柴田啓蔵さん」
松崎 一「柴田啓蔵さんとおつきあい」
古文書学習会「近世民衆史の泉(1)」(～3、55号、1989年9月)
(『部落解放史ふくおか』54号、1989年6月)
- 豊島延治他「座談会／部落問題が教科書に載ったころ」
松下志朗「福岡藩の被差別部落(3)」(～4、55号、1989年9月)
(『部落解放史ふくおか』55号、1989年9月)
- 波平恵美子「『ケガレ』の論理」
谷口研二「民話にみる他者認識の分析(1)—民俗社会の民話と被差別部落の民話の比較考察」
薄井一央「一輪の花—柴田啓蔵さんの思い出」
岡本 隆「柴田啓蔵さんを偲んで」
崎原 貢「史料紹介／『琉球列島の沖縄人・日本の少数民族』」
三苦鐵治「書評／『筑前竹槍一揆論』を読んで」
(『部落解放史ふくおか』56号、1989年12月)
- 特集：九州部落史研究の現在
(『部落解放史ふくおか』57号、1990年3月)
- 特集：『菜の花』がでて10年
東定宣昌「史料紹介／嘉麻穂波党民暴動鎮撫日記」
古文書学習会「近世民衆史の泉(4)」
(『部落解放ひろしま』8号、1988年8月)
- 門田秀夫「連続解放講座8—Ⅱ明治維新と部落問題」
三浦昇一「戦後広島県部落解放運動史 草稿1」
(『部落解放ひろしま』9号、1988年12月)
- 門田秀夫「連続解放講座9—Ⅲ資本主義の発達と部落問題」
(『部落解放ひろしま』10号、1989年8月)

- 安保則夫「共同研究Ⅲ近代都市形成過程にみる社会的差別の構造—明治期神戸におけるコレラ流行とその対策を中心として(下—2)」
- 高木伸夫「兵庫県水平運動史関係年表(草稿)そのⅢ」
- 黒田展之「書評/藤野豊・徳永高志・黒川みどり『米騒動と被差別部落』」
- 城間哲雄「書評/部落解放研究所編『米騒動 水平社への道のり』」
(『ひょうご部落解放』33号、1988年12月)
- 黒田展之「賀川豊彦の被差別部落論」
- 安保則夫「共同研究Ⅲ近代都市形成過程にみる社会的差別の構造—明治期神戸におけるコレラ流行とその対策を中心として(下—3)」
- 金子マーティン「戦前期繊維産業における兵庫県被差別部落の女性労働者—沖縄・朝鮮からの出稼ぎ労働者との関連で(上)」
- 黒田展之「書評/松崎武俊『警察史・竹槍—揆史料』」
- 中尾健次「書評/『尼崎部落解放史』」
(『ひょうご部落解放』34号、1989年3月)
- 「座談会/賀川豊彦、共同研究を終えて」
- 金子マーティン「戦前期繊維産業における兵庫県被差別部落の女性労働者—沖縄・朝鮮からの出稼ぎ労働者との関連で(下)」
- 山田照美「書評/神戸学生・青年センター編『賀川豊彦の全体像』」
- 中尾健次「書評/塩見鮮一郎『浅草弾左衛門』」
(『ひょうご部落解放』35号、1989年6月)
- 明山 修「『新古平民騒動』の研究(上)」
- 永瀬康博「猪皮と空穂—『言継卿記』を中心として」
- 安達五男「兵庫県下『部落史』関係史料の紹介(1)—鶴野家入会山関係文書」
- 高木伸夫「兵庫県水平運動史関係年表(草稿)そのⅣ」
- 明山 修「書評/川元祥一『物語武州鼻緒騒動』」
- 中尾健次「書評/寺木伸明『部落史の見方考え方』」
(『ひょうご部落解放』36号、1989年9月)
- 中尾健次「地域の部落史を掘り起こす意義と課題」
- 藤本裕三「上ノ島部落史研究会の活動」
- 西田英二「伝統を編む竹細工職人」
- 松島益平他「交流会/歴史を掘り起こし闘いの糧に」
- 明山 修「『新古平民騒動』の研究(中)」
- 安達五男「兵庫県下『部落史』関係史料の紹介(2)—鶴野家入会山関係文書」
- 西田英二「書評/田官武編『被差別部落の暮らし』」
- 小林文広「書評/安保則夫『ミナト神戸 コレラ・ペスト・スラム』」
(『ひょうご部落解放』37号、1989年12月)
- 明山 修「『新古平民騒動』の研究(下)」
- 高木伸夫「兵庫県水平運動史関係年表(草稿)そのⅤ」

- 井上正一「書評/部落解放研究所編『部落解放史』上巻」
- 太田恭治「書評/京都部落史研究所編『近世の民衆と芸能』」
(『ひょうご部落解放』38号、1990年3月)
- 安達五男「兵庫県下『部落史』関係史料の紹介(3)—村高・年貢・諸納入関係文書」
- 寺木伸明「書評/『龍野の部落史・近世編』」
- 井上正一「書評/『けいはつ—「ケガレ」意識を考える』」
- 小林文広「書評/『部落解放史』中巻」
- 高木伸夫「書評/『水平運動の社会思想史的研究』」
〈フ〉
- (『部落解放研究』60号、1988年2月)
- 藤野 豊「『部落厚生皇民運動』史論—水平運動における戦争協力の問題」(1)
- 赤塚康雄「資料紹介/アメリカの戦時資料『部落民—日本の被差別民』」
(『部落解放研究』61号、1988年4月)
- 藤野 豊「『部落厚生皇民運動』史論—水平運動における戦争協力の問題」(2)
- (『部落解放研究』62号、1988年7月)
- 金子マーティン「近代部落史における部落女工「定説」の批判的検討」
- 宮橋国臣「聞き取り/水平運動黎明期の主義者たち—傑僧三浦大我と水平社創立者」
- 藤野 豊「『部落厚生皇民運動』史論—水平運動における戦争協力の問題」(3)
- 赤塚康雄「アメリカの戦時資料(2)—『ニューヨーク・タイムズ』1928年1月1日号「平等を求めて」」
- 吉村智博「史料紹介/幕末における一独立村の動向—摂津国下田村文書」
(『部落解放研究』64号、1988年10月)
- 金 永 大「特別報告/「白丁」と衡平運動」
- 中尾健次「最近の前近代部落史研究の成果と課題—大阪の近世部落史を中心に」
- 黒川みどり「米騒動七〇周年と部落問題」
(『部落解放研究』65号、1988年12月)
- 部落解放研究所「朝鮮の被差別民衆「白丁」と衡平運動」
- 片山須美子・金英達「アメリカの戦時資料(3)—『在日外国人』」
(『部落解放研究』66号、1989年2月)
- 土肥昭夫「賀川豊彦と部落差別問題」
- 生瀬克己「『近世部落』像の再構築のために」
- 渡部 徹「『部落解放史』近代編について」
- 上田正昭「古代・中世史の研究課題」
- 小林 茂「部落史研究の課題」
(『部落解放研究』67号、1989年4月)
- 河野健二「講演/フランス革命と人権宣言」
(『部落解放研究』69号、1989年8月)
- 部落解放研究所近現代史部会「『占領期の部落問題』の特集にあたって」

- 大串夏身「弾直樹とその時代—明治初年を中心に」
 早瀬二郎「連載漫画／弾左衛門風雲録（第3回）」
 関根静夫「弾左衛門の出自と由緒書に関する若干の考察(1)」
 本田 豊「弾左衛門の名前をめぐって」
 本田 豊「連載／関東水平社運動の軌跡—山口千代次氏に聞く(その5)」
 (『東京部落解放研究』60・61号、1989年1月)
 塩見鮮一郎・川元祥一「対談／小説『浅草弾左衛門』と部落の歴史を語る」
 関根静夫「弾左衛門の出自と由緒書に関する若干の考察(2)」
 松島一心「弾左衛門から借金した金融業者」
 早瀬二郎「連載漫画／弾左衛門風雲録（第4回）」
 本田 豊「連載／関東水平社運動の軌跡—山口千代次氏に聞く(最終回)」
 本田 豊「日本の賤民由来書（第6回）—細工人由緒書」
 石田 貞「本を読む／『物語り・武州鼻緒騒動』」
 (『東京部落解放研究』62号、1989年3月)
 早瀬二郎「連載漫画／弾左衛門風雲録（第5回）」
 本田 豊「連載／関東水平社運動の軌跡—岩上弥三郎氏に聞く(第1回)」
 (『東京部落解放研究』63号、1989年3月)
 特集：上州小頭三郎右衛門文書(1)
 (『東京部落解放研究』64号、1989年6月)
 本田 豊「連載／関東水平社運動の軌跡—岩上弥三郎氏に聞く(第2回)」
 (『東京部落解放研究』65・66号、1989年12月)
 特集：上州小頭三郎右衛門文書(2)
 (『東京部落解放研究』67号、1990年3月)
 特集：東日本の部落史
 ——「座談会／『三郎右衛門文書』と上州植野村の生活」
 大熊哲雄「上州植野植場の入用銭紛争に見る諸問題—『上州小頭三郎右衛門文書(一)』を
 読んで」
 吉田 勉「近世後末期における被差別部落の支配・経済・社会・文化状況について」
 (『同和研究資料』10号、1988年9月)
 橋本 徹「頭如上人と本願寺教団(上)」
 岩谷教授「部落寺院制についての一考察—播磨国真宗教団を中心に」
 (『同和問題研究』11号、1988年3月)
 生瀬克己「近世の障害者観について」
 寺木伸明「安永7年10月の「賤民」取締令についての小考察」
 ——「牧英正先生略歴、著書、論文など」
 <ナ>

- (『ながさき部落解放研究』16号、1988年3月)
 前川雅夫「炭坑初期の労働力」
 阿南重幸「わき起こる疑問をノートに一五島藩の差別構造」
 (『ながさき部落解放研究』17号、1988年10月)
 中尾 貫「部落解放史—人間として」
 若木太一「被差別部落史雑纂(2)」
 (『ながさき部落解放研究』18号、1989年3月)
 網野善彦「中世の非人について」
 若木太一「被差別部落史雑纂(3)」
 樹田重忠「紡績に行った子どもたちの思いを伝え続けて」
 (『ながさき部落解放研究』19号、1989年10月)
 網野善彦「中世の「非人」について(つづき)」
 事務局「第8回九州地区部落解放史研究交流会報告」
 前川雅夫「近世の被差別部落」
 阿南重幸「近代の被差別部落」
 (『ながさき部落解放研究』20号、1990年3月)
 原口顕雄「普遍性を持つ長崎の部落史研究」
 前川雅夫「『炭坑誌—長崎県石炭史年表』を発行して」
 (『奈良部落解放研究』6号、1988年5月)
 特集：「天皇(制)による洞部落強制移転の実相—移転編Ⅱ」
 <ヒ>
 (『ひょうご部落解放』30号、1988年3月)
 安保則夫「共同研究Ⅲ近代都市形成過程にみる社会的差別の構造—明治期神戸における
 コレラ流行とその対策を中心として(中)」
 高木伸夫「兵庫県水平運動史関係年表(草稿)そのⅡ」
 小林丈広「近代・近郊農村の被差別部落(上)」
 (『ひょうご部落解放』31号、1988年6月)
 高木伸夫「兵庫県水平社運動と前田平一」
 城間哲雄「戦後初期兵庫県部落解放運動と前田平一(上)」
 安保則夫「共同研究Ⅲ近代都市形成過程にみる社会的差別の構造—明治期神戸における
 コレラ流行とその対策を中心として(下)」
 小林丈広「近代・近郊農村の被差別部落(下)」
 黒田展之「書評／好並隆司編『明治初年解放令反対—揆の研究』」
 田宮 武「書評／部落解放同盟中央本部編『差別表現と糾弾』」
 (『ひょうご部落解放』32号、1988年9月)
 城間哲雄「戦後初期兵庫県部落解放運動と前田平一(下)」
 杉本昭典「十三代目弾左衛門(直樹)百回忌・神戸集会によせて」

- (『こべる』133号、1989年1月)
 小林丈広「近代に生きる人々・番茶刈り」
 (『こべる』134号、1989年2月)
 土方 鉄「近代に生きる人々・春駒」
 (『こべる』135号、1989年3月)
 山本尚友「同和事業総括の一視点—戦後同和事業略史をつうじて」
 灘本昌久「近代に生きる人々・行商人」
 (『こべる』136号、1989年4月)
 山本尚友「同和事業総括の一視点—戦後同和事業略史をつうじて」(下)
 師岡佑行「史料紹介／食事をともにすること」
 (『こべる』137号、1989年5月)
 灘本昌久「「差別語」といかに向きあうか(上)—「新平民」「特殊部落」という言葉の歴史」
 (『こべる』138号、1989年6月)
 師岡佑行「糾弾論の系譜—水平社運動における」
 中村水名子「近代に生きる人々・くず買い」
 (『こべる』139号、1989年7月)
 灘本昌久「「差別語」といかに向きあうか(下)—差別のフェティシズムを超えて」
 金子真知子「近代に生きる人々・ブラシ」
 (『こべる』140号、1989年8月)
 師岡佑行「近代に生きる人々・生業1」
 (『こべる』141号、1989年9月)
 師岡佑行「近代に生きる人々・生業2」
 (『こべる』142号、1989年10月)
 八箇亮仁「近代に生きる人々・井戸掘り」
 (『こべる』143号、1989年11月)
 重光 豊「京都柳原銀行小史—近代被差別部落の経済力」
 前川む一「近代に生きる人々・菘屋(仲介業)」
 (『こべる』144号、1989年12月)
 高木奈保子「図書館の自由と差別表現」
 小林丈広「近代に生きる人々・土方」
 (『こべる』145号、1990年1月)
 阿部謙也「ヨーロッパの宇宙観と差別(上)」(～下、146号、2月)
 (『こべる』147号、1990年3月)
 中村水名子「近代に生きる人々・膠造り」
 <サ>
 (『佐賀部落解放研究所紀要—部落史研究』5号、1988年2月)
 米倉利昭「佐賀藩における部落形成史の一断面」
 森山沾一「融和事業・融和教育の地域的展開—東松浦郡相知町の場合(上)」

- 中村久子「佐賀の龍守助左衛門のこと—佐賀鍋島藩被差別部落と支配の様相」
 中村久子「資料／多久家『御屋形日記』から」
 (『佐賀部落解放研究所紀要—部落史研究』6号、1989年3月)
 日野賢隆「笠原初二の思想と生涯」
 大島恒彦「江戸期古地図に現われた被差別部落(補遺)」
 森山沾一「解放歌作詞者・柴田啓蔵氏を悼む」
 中村久子「資料／多久家『御屋形日記』から／蓮池鍋島家『請役所日記』から／小城鍋島家『日記』『日記目録』から」
 <シ>
 (『人権問題研究室紀要』16号、1988年3月)
 市川訓敏「極楽院空也堂の非人支配について」
 (『人権問題研究室紀要』17号、1988年9月)
 松岡 保「『よき日のために』(水平社創立趣意書)におけるゴリーキー(補遺)」
 趙 博「「内鮮」融和政策史論(その3)」
 (『人権問題研究室紀要』18号、1989年3月)
 小山仁示「外島保養院事件に関する新聞報道」
 (『人権問題研究室紀要』19号、1989年7月)
 梁 永厚「近世朝鮮の身分制度と差別法」
 (『信州農村開発史研究所所報』27号、1989年1月)
 東 栄蔵「『破戒』における部落観の史的解析を」
 (『信州農村開発史研究所所報』28・29号、1989年7月)
 斎藤洋一「小田井宿旅籠屋「無宿」捕り物一件」
 (『信州農村開発史研究所所報』30号、1989年10月)
 寺木伸明「民の声を天の声に」
 佐久市教委同和教育課「佐久市における部落史の取り組み」
 斎藤洋一「江戸時代の「手当て」」
 (『身同一同和研究紀要』8号、1989年6月)
 服部みち子「北海道開拓と東本願寺」
 美藤 遼「朝鮮布教の論理」
 橋 了法「米田富先生の思い出」
 <ト>
 (『東京部落解放研究』58号、1988年3月)
 本田 豊「先祖は駕籠にのって城へつとめていた—埼玉県鴻巣市で」
 早瀬二郎「連載漫画／弾左衛門風雲録(第2回)」
 (『東京部落解放研究』59号、1988年6月)
 荒井貢次郎「弾体制と人間差別—近世賤民制と被差別部落問題の原点」

特集：洗染一揆関係史料集

《『岡山部落解放研究所紀要』7号、1989年12月》

好並隆司「箒と鐘のはなし—部落史の一駒」

若林義夫「洗染一揆—倭約令・歎願書—について」

<カ>

《『解放研究』2号、1988年6月》

福岡安則ほか「口述の部落史／桐生編」

荒井貢次郎「浅草弾左衛門文書等発掘顕彰—上・下野国の近世地方民事訴訟史料を交えて」

川元祥一「史料にみる桐生の部落の歴史実態」

石田 貞「関東大震災下の埼玉の朝鮮人虐殺事件」

《『解放研究』3号、1989年8月》

福岡安則・鐘ヶ淵晴彦「山梨県下の部落差別—口述の部落史から」

川元祥一「部落の伝統芸・佐渡の春駒」

荒井貢次郎・古賀芳夫「史料紹介／近世名主文書による桐生の被差別部落実態」

高野昭之助「浅科村の歴史を取り戻す闘いについて」

<キ>

《『京都部落史研究所紀要』8号、1988年3月》

師岡佑行「幻の住宅建設計画」

藤野 豊「全国水平社の創立と浄土真宗信仰」

川路興造「「さゝら」と「さゝら説経」

《『京都部落史研究所紀要』9号、1989年3月》

川嶋将生「川崎村の成立をめぐる」

白石正明「初期水平運動とアナキズム」

田良島哲「中世後期の宿と散所」

小林文広「都市と公衆衛生」

<ケ>

《『月刊部落問題』134号、1988年1月》

曾地公夫「皮革あれこれ(60)」(～70、145号、12月)

《『月刊部落問題』135号、1988年2月》

藤本清二郎「紹介／塚田孝『近世日本身分制の研究』」

鳥飼慶陽「県内情報／賀川豊彦と部落問題」

《『月刊部落問題』136号、1988年3月》

市川真一「追悼／阿部真琴先生の死を悼む」

《『月刊部落問題』137号、1988年4月》

成澤榮壽「近代史を歩く(1)」(～5、142号、9月)

《『月刊部落問題』140号、1988年7月》

鈴木正幸「紹介／『米騒動と被差別部落』」

《『月刊部落問題』141号、1988年8月》

——「紹介／『賀川豊彦と現代』神戸・毎日で大きく紹介」

《『月刊部落問題』142号、1988年9月》

鈴木 良「賀川豊彦と水平運動」

——「賀川豊彦のことなど—木村京太郎さんに聴く」

足立雅子「紹介／部落問題研究所編『部落の生活史』」

《『月刊部落問題』143号、1988年10月》

峯岸賢太郎「習俗の差別を考える(1)」(～3、145号、12月)

《『月刊部落問題』146号、1989年1月》

塚田 孝「近世身分制研究と非人論の見地」

藤本清二郎「近世史研究からみた『近世日本身分制の研究』の位置」

今西 一「『近世日本身分制の研究』を読んで—近代史研究の立場から」

峯岸賢太郎「習俗の差別を考える(4)」(～11、154号、9月)

曾地公夫「皮革あれこれ(71)」(～80、157号、12月)

《『月刊部落問題』152号、1989年7月》

——「アイヌ民族文化伝承調査団報告書」

《『月刊部落問題』153号、1989年8月》

足立雅子「紹介／『部落史史料集(1)古代・中世篇』」

《『月刊部落問題』155号、1989年10月》

前 圭一「紹介／峯岸賢太郎『近世身分論』」

《『月刊部落問題』157号、1989年12月》

脇田 修「河原巻物(1)」(～3、160号、1990年3月)

《『月刊部落問題』158号、1990年1月》

鈴木正幸「書評／『近代日本の社会史的研究』」

《『月刊部落問題』160号、1990年3月》

特集：大阪・生野からのレポート

<コ>

《『こべる』126号、1988年6月》

山本尚友「近代に生きる人々・連載にあたって」

《『こべる』127号、1988年7月》

山本尚友「近代に生きる人々・草履表」

《『こべる』129号、1988年9月》

中村水名子「近代に生きる人々・竹の皮」

《『こべる』131号、1988年11月》

八箇亮仁「近代に生きる人々・マッチ」

《『こべる』132号、1988年12月》

袖岡正禎「近代の部落差別と人権—部落差別の定義をつぐって」

長尾眞砂子「近代に生きる人々・わらじ」

丹生谷哲一「研究余録／河原者・菊・天皇」

<フ>

『福音と世界』44巻3号、1989年3月)

藤野 豊「全国水平社とキリスト教」

『文化人類学』7、アカデミア出版会、1990年1月)

特集／世界の少数民族

<ミ>

『三重法経』79～62、1988年2月～89年3月)

茂木陽一「民衆動員の構造—筑前竹槍—揆を中心として」

『御影史学論集』13、1989年10月)

永瀬康博「調査報告／原皮業と脳漿造り」

『民衆史研究』37号、1989年5月)

藤野 豊「序論・近代天皇制下のハンセン病者—別府の力浜事件からの視点」

『民衆史研究』38号、1989年11月)

黒川みどり「三重県近代部落史年表」五

『民衆史研究』39号、1990年5月)

藤野 豊「日本ファシズム成立期におけるハンセン病患者の解放闘争」

<ヤ>

『山口県文書館研究紀要』15号、1988年3月)

北川 健「高杉晋作の「天下」「穢多」の書簡—偽文書のアリバイと時代のシルエット」

『山口県文書館研究紀要』16号、1989年3月)

北川 健「維新団の原像とその再生像—「苗字なき」兵団からのメッセージ」

<レ>

『歴史学研究』No.583、1988年8月)

西木浩一「史料文献紹介／群馬部落研・東毛地区近世史学習会『下野国太郎兵衛文書』」

『歴史学研究』No.589、1989年1月)

細川涼一「書評／河野勝行『障害者の中世』」

『歴史学研究』No.591、1989年3月)

伊香俊哉「史料・文献紹介／鈴木正幸『近代天皇制の支配秩序』」

黒川みどり「史料・文献紹介／小林末夫『差別と天皇制』」

黒川みどり「史料・文献紹介／鳥飼慶陽『賀川豊彦と現代』」

『歴史学研究』No.594、1989年6月)

丹生谷哲一「中世における他者認識の構造—非人の問題を中心に」

尹 健次「戦後歴史学における他者認識—在日朝鮮人の視点から」

『歴史学研究』No.598、1989年10月)

西木浩一「書評／塚田 孝『近世日本身分制の研究』」

『歴史学研究』No.601、1989年12月)

竹永三男「書評／藤野豊・徳永高志・黒川みどり『米騒動と被差別部落』」

『歴史評論』455号、1988年3月)

西木浩一「書評／塚田正朋著『近世部落史の研究』」

『歴史評論』459号、1988年7月)

峯岸賢太郎「近世身分論再説—高木昭作氏の反批判に答える」

坂本忠次「岡山の米騒動と部落民の役割をめぐって」

『歴史評論』470号、1989年6月)

布川 弘「書評／藤野豊他『米騒動と被差別部落』」

『歴史評論』478号、1990年2月)

脇田 修「近世における部落と天皇覚書」

鈴木 良「天皇制研究について—部落問題の歴史研究の立場から」

『歴史評論』479号、1990年3月)

西木浩一「近世「賤民」身分の女性をめぐって」

黒川みどり「融和運動機関誌に見る女性」

(3) 部落問題関係雑誌

<オ>

『おおいた部落解放研究』6号、1988年3月)

姫野順一「部落史研究の現状と課題—「民衆史・流通の視点」と「過渡期研究」の重要性」

寺木伸明「部落史の視点—部落史学習指導とかかわって」

小犬丸裕「別府のヶ浜事件を教材化して」

編集委員会事務局「おおいた部落史年表」(I)

栢田美純「岡藩「御覧帳細注」「志美濃屋登梨」より」

『おおいた部落解放研究』7号、1988年11月)

村越末男「部落史研究と国際主義」

(パネルディスカッション)「別府のヶ浜焼き打ち事件」

栢田美純「杵築藩・浅黄半襟逃散—揆」

芦刈政治「山下九兵衛父子小伝—部落住民化の一型態」

吉村喬也「戦前の融和と教育—高田町教員住宅住み込み時代の思い出」

編集委員会事務局「おおいた部落史年表」(II)

『おおいた部落解放研究』8号、1989年7月)

上杉 聰「大分県屠牛反対—揆のとらえ方」

安田多希子「大分県における河原巻物とその特徴」

栢田美純「大分県における河原巻物」

編集委員会事務局「おおいた部落史年表」(III)

『岡山部落解放研究所紀要』6号、1988年9月)

<オ>

『大阪教育大学紀要』第2部門、38巻1号、1989年9月)

中尾健次「近世における賤民支配の構成(Ⅳ)―非人組織の形成と野非人問題」

『大阪経大論集』192号、1989年11月)

森 杉夫「和泉一國高附名所誌」

<カ>

『関西大学法学論集』39巻3号、1989年9月)

小笠原正仁「戦国末期の寺内町の諸問題―ルイス・フロイスの『日本史』を中心として」

<キ>

『教化研究』101号、1989年12月)

上杉 聰「日本近代の歴史における差別の構造」

『郷土田川』31号、1988年3月)

安藤龍生「田川地域と被差別部落」

『キリスト教社会問題研究』37号、1989年3月)

住谷 馨「留岡幸助著作集」編纂と同和問題」

<ク>

『駒沢大学史学論集』19号、1989年2月)

三富 徹「解放令」と斃牛馬勝手処置令―その深層での連環」

<サ>

『塚研究』20号、1989年3月)

北崎豊二「塚島の辛未戸籍と壬申戸籍」

<シ>

("Japan Quarterly" October-December, 1989)

Kojita, Yasunao "Book Review/Discrimination in the Land Homogeneity"

『四国学院大学論集』69号、1988年7月)

栗林輝夫(訳)「林淳萬／「白丁・朝鮮の不可触民」

『静岡県近代史研究』13号、1987年10月)

竹内康夫「静岡県水平運動史(1)」(～2、14号、1988年11月)

『静岡県近代史研究会会報』112号、1988年1月)

竹内康夫「静岡県の水平運動について」

『静岡県近代史研究会会報』120号、1988年9月)

竹内康人「最近の部落史研究から」

『思想』No.786、1989年12月)

金 静 美「朝鮮独立・反差別・反天皇制―衡平社と水平社の連帯の基軸はなにか」

『社会政策学会年報』32号、1988年)

福原宏幸「近代日本スラムの労働―生活過程―大阪での軌跡」

『週刊朝日百科日本の歴史』113、1988年6月)

黒川みどり「水平社と松本治一郎―荊冠旗のもとに」

<セ>

『専修史学』20号、1989年3月)

城石清子「戦前の融和教育に於ける一考察―教育実践を中心として」

<チ>

『地域史研究』17巻2号、1989年1月)

のびしょうじ「広域非人番制の展開と村々の抵抗(1)」(～2、3号、3月)

<テ>

『帝塚山大学論集』68号、1990年3月)

藤野 豊「ハンセン病対策史における優勢主義の台頭」

<ト>

『東海近代史研究』11号、1989年12月)

藤井寿一「書評／『角川日本地名大事典 23 愛知県』

<ナ>

『奈良法学会雑誌』1巻1号、1988年6月)

桐村彰郎「書評／田中彰『明治維新観の研究』」

『奈良法学会雑誌』1巻2号、1988年9月)

桐村彰郎「1930年代の全国水平社と大阪府連」

『奈良法学会雑誌』1巻4号、1989年4月)

桐村彰郎「書評／伊藤晃『天皇制と社会主義』」

『奈良法学会雑誌』2巻3号、1989年12月)

桐村彰郎「部落解放反対一揆にみる民衆意識の諸相」

<ニ>

『日本史研究』309号、1988年5月)

成田龍一「書評／池田敬正『日本社会福祉史』」

『日本史研究』322号、1989年6月)

布川 弘「書評／鳥飼慶陽『賀川豊彦と現代』」

『日本史研究』323号、1989年7月)

青木孝寿「書評／部落問題研究所『近代京都の部落史』」

『日本史研究』324号、1989年8月)

前 圭一「書評／塚田 孝『近世日本身分制の研究』」

『日本歴史』492号、1989年5月)

峯岸賢太郎「近世賤民と旦那場」

『日本歴史』493号、1989年6月)

――「新刊寸評／部落問題研究所編『部落史史料集』1、古代・中世篇」

『日本歴史』498号、1989年11月)

――「新刊寸評／部落問題研究所編『部落史史料集』2、近世篇 生活」

――「新刊寸評／京都部落史研究所編『近世の民衆と芸能』」

『日本歴史』502号、1990年3月)

- 八箇亮仁「教育史からの視点」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)
 原口 貢「農民収奪と抵抗」(『福岡の部落解放史』上、1989年)
 原田顕雄「水平社の思想と運動」(『福岡の部落解放史』下、1989年)
 原田敬一「1900年代の都市下層社会」(『近代日本の社会史的分析』1989年)
 原田伴彦編『編年差別史資料集成』10～12近世部落編 5～7 (三一書房、1988年)
 原田伴彦編『編年差別史資料集成』13～15近世部落編 8～10 (三一書房、1989年)
 原田伴彦編『編年差別史資料集成』16近世部落編11 (三一書房、1990年)
- <ヒ>
- 皮革産業沿革史編纂委員会『皮革産業沿革史 下巻』(1989年)
 平野一郎『オール・ロマンス事件 差別行政の糾弾闘争』(1988年)
 ひろたまさき「解説／日本近代社会の差別構造」(『日本近代思想体系21—差別の諸相』岩波書店、1990年)
- <フ>
- 深谷克己「解説／世直し一揆と新政反対一揆」(『日本近代思想体系21—民衆運動』岩波書店、1989年)
 福岡部落史研究会編『福岡の部落解放史』上下 (1989年)
 福田雅子・柏瀬 武『部落史をどう教えるか』(日本放送出版協会、1990年)
 福本正夫『桐原の部落史』(1988年)
 藤野 豊・徳永高志・黒川みどり『米騒動と被差別部落』(雄山閣、1988年)
 藤野 豊「融和政策・融和運動史研究の状況」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)
 藤野 豊『水平運動の社会思想史的研究』(雄山閣、1989年)
 藤野 豊「解説／機関誌紙に見る1920年代水平運動」(『「初期水平運動資料集」解説・総目次・索引』不二出版、1989年)
 部落解放研究所編『米騒動—水平社への道のり』(1988年)
 部落解放研究所編『部落解放史—熱と光を』上、中、下 (1989年)
 部落問題研究所編『部落の生活史』(1988年)
 部落問題研究所編『近代日本の社会史的分析—天皇制下の部落問題』(1989年)
 部落問題研究所編『部落史史料選集』1 古代・中世篇 (1988年)
 部落問題研究所編『部落史史料選集』2 近世篇 生活 (1989年)
 部落問題研究所編『部落史史料選集』3 近世篇 思想・文化 (1989年)
- <ホ>
- 本田 豊『部落史からみた東京』(亜紀書房、1990年)
- <マ>
- 松崎武俊『松崎武俊著作集』<上巻> 部落解放史発掘 (葦書房、1986年)
 松崎武俊『松崎武俊著作集』<下巻> 警察史・竹槍一揆資料 (葦書房、1988年)
 松下志朗編『近世九州被差別部落の成立と展開』(明石書店、1989年)
 松下志朗「形成と展開」(『福岡の部落解放史』上、1989年)

- 松下志朗「久留米藩の被差別部落」(『福岡の部落解放史』上、1989年)
- <ミ>
- 三浦圭一『日本中世賤民史の研究』(部落問題研究所、1990年)
 三重部落解放研究会編『部落解放へのあゆみ』(1988年)
 峯岸賢太郎『近世身分論』(校倉書房、1989年)
 宮田 登「総論 民俗宗教のなかの血穢観」(『体系・仏教と日本人 8 性と身分 弱者・敗者の理性と悲運』春秋社、1989年)
- <ム>
- 向野地域産業と歴史研究会編『向野のれきしとせいかつ』(1989年)
 向野地域産業と歴史研究会有志『向野食肉産業百年史』(1990年)
 村岡仁二次『私の解放運動史—鹿児島歩み』(人権書店、1989年)
- <モ>
- 茂木陽一「新政反対一揆の構造」(『近代日本の社会史的分析』1989年)
 望月町教育委員会編『望月の町民の歴史』第12集 (1988年)
 望月町教育委員会編『春日の歴史』1 (1989年)
 森田康夫・辻村輝彦『河内の被差別部落 八尾座の歴史』(解放出版社、1989年)
 森谷宏幸「水平社と農民運動」(『福岡の部落解放史』下、1989年)
- <ヤ>
- 山路興造『翁の座—芸能民たちの中世』(平凡社、1990年)
 山本尚友「宗教史からの視点」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)
- <ユ>
- 湯浅孝子「女性史からの視点」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)
- <ヨ>
- 横井 清『的と袍衣—中世人の生と死』(平凡社、1988年)
 横井 清「賤視と救済」(『体系・仏教と日本人 8 性と身分 弱者・敗者の理性と悲運』春秋社、1989年)
- <ワ>
- 渡辺俊雄『現代史のなかの部落問題』(解放出版社、1988年)
 渡辺俊雄「戦後解放運動論争史の状況」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)
- (2) 歴史関係雑誌
- <ア>
- (『愛知学院大学教養部紀要』34巻3・4号、1988年11月)
 松浦国弘「愛知県水平社結成に至るまでの4つの事件」
 松浦国弘「模範村・吉野村風俗改善同盟会結成の経緯」
 (『愛知学院大学教養部紀要』37巻2号、1989年11月)
 松浦国弘「愛知県・部落及び部落関連記事資料集成(上)—1872～1916年」

年)

黒川みどり「近代日本と部落問題研究の状況」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)

<コ>

『衡平』翻訳編集委員会『朝鮮の被差別民衆—「白丁」と衡平運動』(解放出版社、1988年)

小路田泰直「総論 日本資本主義と部落問題」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

小路田泰直「都市自治と部落問題についての考察」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

小林 茂・秋定嘉和編『部落史研究ハンドブック』(雄山閣、1989年)

小林 茂「部落史研究にあたって」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)

小林 茂「経済史からの視点」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)

コリア研究所『消された言論—政治編』(未来社、1990年)

<シ>

塩見鮮一郎『北条百歳 花の小田原』第1巻(批評社、1990年)

静岡県同和会『静岡県同和地区の歴史』(静岡県同和会、1986年)

芝 英一「近世身分制と被差別の民—田辺領の場合」(南部郷部落問題研究会、1989年)

芝原拓自「解説/対外観とナショナリズム」(『日本近代思想体系12—対外観』岩波書店、1988年)

寿岳章子『ことばづかいの昭和史』(岩波書店、1988年)

新藤東洋男「自由民権の自治要求と復権同盟」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

<ス>

鈴木 良「ファシズム期の部落問題」(『近代日本社会と天皇制』柏書房、1988年)

鈴木 良「総論 部落問題の成立」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

鈴木 良「明治末期における未解放部落の状況」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

住井すゑ・寿岳文章『時に聴く—反骨対談』(人文書院、1989年)

住井すゑ・福田雅子『水平社宣言を読む』(解放出版社、1989年)

<セ>

瀬川欣一『ある被差別部落の五百年』(滋賀県同和問題研究所、1988年)

全解連堺支部編『歴史のとびらをひらく—堺の部落解放運動』(1989年)

<タ>

高岡弘幸「風の神送ろ—説話を紡ぎ出すもう一つの世界」(小松和彦編『これは「民俗学」ではない』1989年)

『高槻の部落史』編集委員会編『高槻の部落史』(1989年)

高野則夫『五郎兵衛新田のむらに生きて』(信州農村開発史研究所、1989年)

竹永三男「地域社会における未解放部落の位置についての一考察」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

竹前栄治「第7章 占領 五 占領とマイノリティ」(国際歴史会議日本国内委員会編『戦後』(『歴史研究の新しい波—日本における歴史学の発達と現状Ⅶ1983~1987』山川

出版社、1989年)

谷口勝巳『近江の被差別部落』(滋賀県同和問題研究所、1988年)

<ツ>

塚田 孝「総論 近世から近代へ」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

塚田 孝「弾左衛門の支配と法」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

<テ>

寺木伸明・大同教『部落史をどう教えるか 増補再訂版』(1988年)

寺木伸明「部落」起源論研究の状況—近世から現代まで(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)

寺木伸明『部落史の見方考え方』(解放出版社、1989年)

寺木伸明「土農工商」「近世部落の成立/近世部落の人々の生活」(『新修大阪市史』第3巻、1989年)

<ト>

鳥飼慶陽『賀川豊彦と現代』(兵庫部落問題研究所、1988年)

<ナ>

中尾健次「近世の被差別部落」「維新政府の諸行政」(『大阪府史』第7巻、1989年)

永末十四雄「石炭産業と部落問題」(『福岡の部落解放史』下、1989年)

中村福治『融和運動史研究』(部落問題研究所、1988年)

生瀬克己「民衆史からの視点」(『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年)

生瀬克己『近世日本の障害者と民衆』(三一書房、1989年)

成田龍一「『小島の春』のまなざし」(『日本近代思想体系22—差別の諸相』付録〔月報15〕岩波書店、1990年)

成沢榮壽「明治期ヒューマンズムの一考察」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

<ニ>

Neary, Ian "Political Protest and Social Control in Pre-war Japan: The Origin of Buraku Liberation" (1989年)

西村 卓「行刑と皮革産業」(『福岡の部落解放史』上、1989年)

日本聖公会部落差別問題委員会編『武州鼻緒騒動秘史』(1988年)

丹羽邦男『土地問題の起源』(平凡社、1989年)

<ヌ>

布川 弘「神戸「新川」の生活構造に関するノート」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

布引敏雄・村崎修二『荆の座—松木淳詩歌集』(文理閣、1989年)

布引敏雄『融和運動の史的分析』(明石書店、1989年)

<ハ>

Ханин, З. Я. "Буракумины—дискриминируемое меньшинство Японии" (1989年)

畑中敏之「解放令」研究史の再検討」(『近代日本の社会史的分析』1989年)

資料

部落史関係文献目録

(註) 以下の目録は本号特集の一環として、概ね1988年から1990年3月に発表された著書・論文を対象に、(1)単行本、(2)歴史関係雑誌、(3)部落問題関係雑誌に分類して掲載した。(1)は編著者の、(2)(3)は雑誌名の50音順に配列した。

(1) 単行本

〈ア〉

- 青木爽平「文学史の視点から」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 青木孝寿「自由民権期における長野県の部落の動向」『近代日本の社会史的分析』1989年
 青盛 透「古代・中世の研究状況」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 秋定嘉和「部落改善運動期の研究状況」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 安蘇龍生「筑豊の被差別部落と石炭」『福岡の部落解放史』上、1989年
 安蘇龍生「解放令」とその影響」『福岡の部落解放史』下、1989年
 尼崎部落解放史編纂委員会編『尼崎部落解放史 本編』(1988年)
 尼崎部落解放史編纂委員会編『尼崎部落解放史 史料編Ⅰ』(1990年)
 網野善彦『日本社会と天皇制』(岩波書店、1988年)
 荒木 傳『大阪社会運動の源流—風霜の彼方に』(東方出版、1989年)
 安良城盛昭『天皇・天皇制・百姓・沖繩』(吉川弘文館、1989年)
 安達五男「近世中・後期の研究状況」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 安保則夫『ミナト神戸 コレラ・ペスト・スラム—社会的差別形成史の研究』(学芸出版社、1989年)

〈イ〉

- 石井良助『江戸の賤民』(明石書店、1988年)
 石尾芳久『明治維新と部落解放令』(三一書店、1988年)
 石尾芳久『人権思想の源流と部落の歴史』(三一書房、1990年)
 石田 源・加藤 明『竹細工に生きる』(解放出版社、1990年)
 乾 武俊『伝承文化と同和教育』(明石書店、1988年)
 井上 清『天皇制と部落差別—さわらぬ神にたたりあり』(明石書店、1988年)

〈ウ〉

- 上杉 聰・石瀧豊美『筑前竹槍—揆論』(鳥海社、1988年)
 上杉 聰「解放令」研究の状況」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 上杉 聰『明治維新と賤民廃止令』(解放出版社、1990年)

- 上田正昭編『奈良の部落史に学ぶ』(明石書店、1989年)
 内田九州男「三郷の下層民」「四ヶ所の形成と組織」『新修大阪市史』第3巻、1989年
 〈オ〉
 大阪社会運動協会編『大阪社会労働運動史』第2巻・戦前編(下)(1989年)
 大阪人権歴史資料館『酒の文化史』(1989年)
 大阪人権歴史資料館『発禁書と言論・出版の自由』(1989年)
 大阪人権歴史資料館『満州移民と被差別部落—融和政策の犠牲となった来民開拓団』(1989年)
 大阪人権歴史資料館『考古学が語る戦争と差別』(1989年)
 大阪人権歴史資料館『日本の歴史と部落問題』(1990年)
 大阪人権歴史資料館『竹の民俗誌—列島文化の深層を掘る』(1990年)
 岡部隆司「差別と天皇制のジレンマ」(赤坂憲雄他『天皇制・入門』J I C C 出版局、1990年)
 岡本良一・内田九州男『悲田院文書』(清文堂、1989年)
 岡山部落解放研究所編『解放令反対—揆シンポジウム資料集 第2回』(1988年)
 岡山部落解放研究所編『洗染—揆現地研修資料』(1988年)
 奥村 弘「土族帰農商・戸籍制度・「解放令」」『近代日本の社会史的分析』1989年
 尾崎行也「地域史からの視点」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 〈カ〉
 掛谷幸平「同愛会・全国融和連盟と中央融和事業協会の成立と統合—1920年代の融和運動」『近代日本社会と天皇制』柏書房、1988年
 柏原祐泉『仏教と部落差別』(解放出版社、1988年)
 鹿野政直『婦人・女性・おんな』(岩波新書、1989年)
 川嶋将生「文化史・芸能史からの視点」『部落史研究ハンドブック』雄山閣、1989年
 川向秀武「部落解放への展望をつかむために」『福岡の部落解放史』上、1989年
 川向秀武「部落改善と生活課題」『福岡の部落解放史』下、1989年
 川向秀武「水平社運動と教育課題」『福岡の部落解放史』下、1989年
 川元祥一『物語り 武州鼻緒騒動』(批評社、1988年)
 〈キ〉
 木津 譲『人間、根にあるもの』(解放出版社、1989年)
 木下道雄『側近日記』(文芸春秋、1990年)
 京都部落史研究所編『井出の部落史 くらしとごと』(1988年)
 京都部落史研究所編『京都の部落史』5史料近世2(1988年)
 京都部落史研究所編『京都の部落史』10年表・索引(1989年)
 京都部落史研究所編『近世の民衆と芸能』(1989年)
 金 英 達『GHQ文書研究ガイド 在日朝鮮人教育問題』(むくげの会、1989年)
 〈ク〉
 熊本大学文学部社会研究室『満州開拓団はいまⅡ 熊本県球磨郡高原地区の場合』(1989